

本概要書には、昇降機定期検査報告書第一面・第二面（第三十六号の四様式）に記入した内容と同一の内容を記入してください。
 第二面は、昇降機定期検査報告書第二面【6. 検査の状況】において、「指摘なし」であった昇降機については省略することができます。
 取り消し線を用いて記入事項の訂正を行った場合は、検査者の訂正印を押印してください。

(第二面)

昇降機の状況等

35 【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】
 【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号
 【ロ. 確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()
 【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号
 【ニ. 検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()

36 【2. 検査日等】
 【イ. 今回の検査】 年 月 日 実施
 【ロ. 前回の検査】 実施 (年 月 日 報告) 未実施
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無

37 【3. 検査者】
 (代表となる検査者)
 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 昇降機等検査員
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】
 (その他の検査者)
 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 昇降機等検査員
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】

38 【4. 保守業者】
 【イ. 名称】
 【ロ. 郵便番号】
 【ハ. 所在地】
 【ニ. 電話番号】

39 【5. 昇降機の概要】 (番号)
 【イ. 種類】 建築設備 工作物
 【ロ. 種別】 エレベーター (斜行) エスカレーター 小荷物専用
 【ハ. 駆動方式】 ロープ式 油圧式 その他 ()
 【ニ. 用途等】 乗用 (人荷共用 非常用) 寝台用 自動車運搬用 荷物用
 【ホ. 機械室の有無】 有 無
 【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (階段の幅) (勾配)
 (kW) (m/min) (kg) (人) (m) (度)
 【ト. 停止階】 階 (停止階床数)
 【チ. 製造者名】

40 【6. 検査の状況】
 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格)
 要重点点検の指摘あり 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】
 【ハ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無
 【ニ. その他特記事項】

41 【7. 不具合の状況】
 【イ. 不具合】 有 無
 【ロ. 不具合記録】 有 無
 【ハ. 不具合の概要】
 【ニ. 改善の状況】 実施済 改善予定 (年 月に改善予定)
 予定なし (理由:)

42 【8. 備考】

項目	記入要領
35 【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】	確認済証交付年月日等は、当該昇降機の既存不適格事項を確認するためには、重要な事項であり、必ず記入してください。
【イ. 確認済証交付年月日】 【ハ. 検査済証交付年月日】	建築基準法第87条の4及び第88条の第1項の規定に基づき、建築主事又は指定確認検査機関から交付された確認済証もしくは検査済証に記載されている年月日及び番号を記入してください。
【ロ. 確認済証交付者】 【ニ. 検査済証交付者】	「建築主事」、「指定確認検査機関」のいずれかのチェックボックスに「✓」を記入してください。また、指定確認検査機関の場合には、()内にその名称を記入してください。
36 【2. 検査日等】	
【イ. 今回の検査】	検査を実施した年月日を記入してください。 複数日にまたがって検査を実施した場合は、その最終日を記入してください。
【ロ. 前回の検査】	前回検査を実施している場合は、「実施」のチェックボックスに「✓」を記入し、前回定期検査報告書に押印の当センター受付日を記入してください。 前回定期検査報告書で当センター受付日が確認できなかった場合は、当センターが発行した報告済証等で確認してください。 初回報告の場合は、「未実施」のチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】	所有者又は管理者に、前回定期検査報告書等の関連書類の保管状況を確認し、「有」、「無」のいずれかのチェックボックスに「✓」を記入してください。
37 【3. 検査者】	代表となる検査者並びに当該昇降機の検査を行った全ての検査者を記入してください。当該昇降機の検査を行った検査者が1名の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
(代表となる検査者) 【イ. 資格】	建築士の場合は、一級、二級の明示と登録名、登録番号を記入してください。 昇降機等検査員の場合は、昇降機等検査員資格者証の交付番号を記入してください。
【ロ. 氏名のフリガナ】	必ず記入してください。
【ニ. 勤務先】	法人の場合は、当該調査者が所属する支店、営業所名を記入してください。 当該検査者が建築士の場合は、建築士事務所名と併せて、建築士事務所登録番号も記入してください。(ただし、当該検査者が所有者と直接の雇用関係にある場合等は除く。)
【ホ. 郵便番号】	所在地欄に記入の住所の郵便番号を記入してください。
【ヘ. 所在地】	住居表示で正確に記入してください。
【ト. 電話番号】	当該検査者が所属する組織の電話番号を記入してください。
(その他の検査者)	上記の代表となる検査者と同様に記入してください。
38 【4. 保守業者】	当該昇降機の維持保全の実施者を記入してください。 上記の代表となる検査者の勤務先と同じ場合は、「同上」と記入しても構いません。
39 【5. 昇降機の概要】	番号欄には、「当センター指定の整理番号」を記入してください。 【イ. 種類】、【ロ. 種別】、【ハ. 駆動方式】、【ニ. 用途等】、【ホ. 機械室の有無】、【ヘ. 仕様】、【ト. 停止階】、【チ. 製造者名】については、報告書第二面と同じ記載をしてください。
40 【6. 検査の状況】	【イ. 指摘の内容】 「検査結果における指摘内容の記入方法」を参照のうえ、「要是正の指摘あり」、「(既存不適格)」、「要重点点検の指摘あり」、「指摘なし」の該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ロ. 指摘の概要】	「要是正」(「既存不適格」は除く)、「要重点点検」の指摘がある場合は、次の事項を記入してください。 ・指摘レベル(要是正もしくは要重点点検) ・指摘概要(検査項目番号と指摘の状態を簡潔に)
【ハ. 改善予定の有無】	「要是正」(「既存不適格」は除く)、「要重点点検」の指摘がある場合は、「有」、「無」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「有」の場合は、「改善予定年月」も併せて記入してください。その際、同時に提出される「改善計画書」との整合性を取ってください。 「既存不適格」の場合は、「無」でも構いません。
【ニ. その他特記事項】	報告書第一面及び概要書第一面【4. ホ. その他特記事項】と同一の内容を記入してください。
41 【7. 不具合の発生状況】	「不具合」とは、前回検査時以降に把握した機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他劣化に起因する戸開走行、異常音、振動等をいいます。
【イ. 不具合】	不具合の第三面に記載すべき事案があった場合に「有」チェックボックスに「✓」を記入してください。
【ロ. 不具合記録】	不具合「有」の場合に、「有」、「無」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ハ. 不具合の概要】	報告書第三面の報告がある場合には、不具合の内容を要約したうえで記入してください。 複数回の不具合が生じた場合には、そのすべてを記入してください。 同一原因で生じた不具合が複数号機に関連する場合には、第三面を添付した代表号機に記入してください。
【ニ. 改善の状況】	不具合「有」の場合に、「実施済」、「改善予定」、「予定なし」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「改善予定」がある場合は、第三面の「改善(予定)年月」欄に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
42 【8. 備考】	本欄には、第一面、第二面に書き表せなかった事項で特に報告すべき事項について、記入してください。 「大臣認定取得の装置」、「確認申請を伴わない仕様変更」、「その他特筆すべき事項」については、必ず記入してください。